

ギャラリー恵風 ニュースレター 2010.9

1F

8月31日(火) - 9月12日(日) 9/6(月)休廊

田積司朗とゆかいな仲間たち展

描けることの喜びをただただ純粋に楽しむ人でした。そんな田積に会いにきてください。
今展開催においてご支援ご協力いただきました皆様心から感謝いたします。(田積佳奈)

・前期 8/31-9/5 : 岩村隆昭、大原雄寛、大向務、藤田隆
・後期 9/7-9/12 : 黒崎彰、齋藤修、坂爪厚生、佐久間嘉明、清水博文、田島征彦、田中良平
※各作家のプロフィールは案内状をご覧ください。

9月14日(火) - 9月19日(日)

黒田暢・黒田富紀子 二人展

これまで60数年もの作りをしているので二人展の話は何回となくありましたが、なんとという理由もなく見送っていました。今回恵風さんのおさそいになんとか乗せてもらいました。お時間のある時お立ち寄りいただければ大変嬉しく存じます。(黒田暢)

1958年 京都朝日新人展出品
1961年 京展 中部日本新聞社賞 '63 紫賞
1969年 '81 二紀会同人賞
1983年 二紀選抜展佳作賞
1988年 二紀展会員賞 '89'90 京都美術選抜展
1991年 二紀展女流画家奨励佐伯賞
1994年 二紀展鍋井賞
1985年 '89'92'94'95 関西二紀展会員賞
1985年 '88 上野の森大賞展 日仏現代美術展
1986年 「ボテロと私」講演 大阪大丸ミュージアムサロン
現在 二紀会委員 日本美術家連盟会員

◆黒田富紀子：銅版画、油絵小品。

<略歴>

黒田 富紀子 KURODA FUKIKO
1954年 京都市立美術大学西洋画科卒業
1954年 西洋画科専攻科入学 '55 中退
1955~59年 同大学西洋画科研究室助手

9月21日(火) - 10月3日(日) 9/27(月)休廊

<特別企画 Vol.2> 花岡伸宏展

「ピンセットの刺さった円柱の飯は木彫りの台を貫通する」
脈絡の無いタイトルをそのまま具現化した立体作品や平面作品は、本来の意味を消失し内容のない空っぽなものへと変化します。今回の展覧会では木彫を主に、立体、平面、映像などさまざまなメディアを使いそれらを表現します。(花岡)

<プロフィール>

1980 広島県生まれ
2006 京都精華大学大学院芸術研究科博士前期課程修了

【主な展覧会】

2010 「ボクラノミカタ」 ガレリアフィナルテ/名古屋
2009 「ずれ落ちた左肩は飯に刺さる」 個展 CPG/BAR 超能力/京都
「After School・放課後の展覧会」 元 立誠小学校/京都
「第12回岡本太郎現代芸術賞展」〈特別賞〉 川崎岡本太郎美術館/神奈川
2007 「脳みそ0ギガバイト」 個展 VOICE GALLERY/京都

2F

8月31日(火) - 9月12日(日) 9/6(月)休廊

田積司朗とゆかいな仲間たち展

田積 司朗 展 (※プロフィールは案内状をご覧ください。)

9月14日(火) - 9月19日(日)

黒田暢・富紀子二人展

◆黒田暢

先年京都新聞に掲載した新美南吉の童話の挿絵原画、型染小品。
<略歴>
黒田 暢 KURODA TORU
1948年 京都市立美術専門学校図案科卒業
1949年 日展入選。74年特選
1950年 京都府工芸美術展知事賞、51年佳賞

1954年 京展市長賞。57年読売新聞社賞、60年市長賞、86年京展賞
1971年 現代工芸10周年記念賞
1981年 日展審査員
1983年 '84,'91 京都選抜展
1995年 染色α表紙を担当。2007年休刊まで。
現在 京都嵯峨美術短期大学名誉教授
日展会員

9月21日(火) - 9月26日(日)

比佐水音展

絵を描くこと、それは自分にとってどういう意味があるのだろうか。消えては生まれ一瞬一瞬変化していく形のない永遠。そして定められた形のある、いつかは無になる儚い存在。結局、突き詰めれば同じ事を意味するように私は感じます。只、自分の感じるものを描くのみです。(比佐)

<プロフィール>

1960年 熊本市生まれ
京都嵯峨美術短期大学 日本画専攻科修了
1980 第36回 熊日総合美術展

1981~84 第6~9回 京都府美術展(新人展)
1988 東京セントラル美術館日本画大賞展
2000 上野の森美術館展 2005~09 京展
2006、2008 ビエンナーレラしく
<個展・グループ展>
1983~88 京都府立芸術会館/芽生展(京都)
2004~ 京都市美術館/尖展(京都)以後毎年出品
2006 石田大成社 ICB/個展(京都)、佐藤美術館/「京都の呼吸力」尖・東京展(東京)
2008 石田大成社ホール/個展(京都)
(その他、多数)

9月28日(火) - 10月3日(日)

北川安希子展

日常の光景の中で不思議と魅力的なものとして心に留まる瞬間を絵画で表現しています。今回の個展では時間と記憶をテーマに制作しました。風景の中の持つ記憶が蓄積されたような感覚、逆に刻々とまたは徐々に変化していく時の経過の中のひと時を表現できればと思います。ご高覧頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。(北川)

<プロフィール>

2008年 成安造形大学 造形美術科日本画クラス研究生修了
2000年 京展 入選 (同2005年)(京都市美術館)
2005年 佐藤太清賞公募美術展覧会 入賞(福知山市厚生会館等)

2007年 個展 (ギャラリーマロニエ)
雪梁舎フィレンツェ賞展 入選 (雪梁舎美術館)
湖族の郷アートプロジェクト (同2009年)(大津市堅田地域)
2008年 第2回ビエンナーレラしく 入選 (牛久市中央生涯学習センター)
JAPANART NEXT 2008 for west展(海岸通ギャラリー・CASO)
2009年 富嶽ビエンナーレ 入選 (静岡県立美術館)
個展(立体ギャラリー射手座)

残暑の候、皆様におかれましては益々清祥のこととお慶び申し上げます。

いよいよ今年後半に向けてスタートします。

9月に開催致します5つの展覧会をご案内申し上げます。

8月31日から9月12日は1階、2階におきまして故 田積司朗さんを偲んで、高い技量をもつ11人の仲間たちが一同に会します。

14日からはベテラン作家 黒田暢さん(2階)、黒田富紀子さん(1階)の初めての夫婦展。結婚されて53年が過ぎ、ユーモア溢れるお二人の意気の合ったところが楽しみです。

21日から10月3日まで、1階では若手注目作家の特別企画第2弾として花岡伸宏展を開催します。通常の体験感覚、既存のルールに囚われない現代美術。今回はどのような驚き、意外性を見せてくれるのでしょうか?!

2階では、21日から比佐水音展。比佐さんはグループ「尖」で活躍中。日本画の可能性にチャレンジする期待の作家です。

又、続いて28日から、日本画の北川安希子展です。大学を卒業して2年、コツコツと努力を積み重ねています。

ベテランから若手の作家まで、見逃せない展覧会が目白押し。皆様の御来場を心よりお待ちしております。

敬具
野村恵子

今後のスケジュール

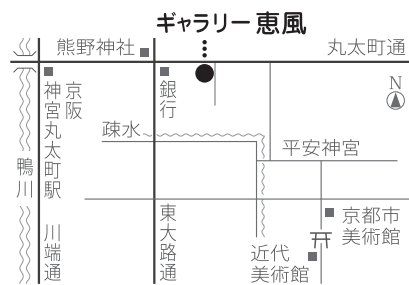
◆1F ギャラリー

10/5~10/10 石塚広 展
10/12~10/24 植葉香澄×染谷聡 展
10/26~11/7 岡田真希人 展

◆2F ギャラリー

10/5~10/10 1Fと同じ
10/12~10/24 工芸とくらし 展
10/26~10/31 吉田真紀子 展

アクセス



市バス 熊野神社前 下車すぐ・京阪神宮丸太町駅より徒歩5分・京都市美術館より徒歩7分
OPEN: 12:00~19:00 (最終日 18:00 まで)
月曜休廊

発行: ギャラリー恵風

発行日: 2010.8.17

〒606-8392

京都市左京区丸太町通東大路東入ル南側

TEL: 075-771-1011 FAX: 075-771-0358

E-mail: g-keifu@hotmail.co.jp

URL: http://keifu.blog86.fc2.com